

# センター会報 シルバー庄内

題字：原田 正一

第 16 号

令和 5 年 7 月 1 日発行

一般社団法人  
庄内町シルバー人材センター

庄内町余目字大塚1-2  
電話・FAX：0234-42-3122  
URL：https://shonai.yamagataren.org



1日会員研修 佐野原五百羅漢とぶどう刈り



消毒作業



雪囲い撤去作業



余目ライオンズクラブ55周年事業としてシルバー人材センターに看板贈呈される。(令和4年6月23日)

## 目次

- P2… 理事長・町長あいさつ  
お客様の声
- P3… 第11回定時総会  
インボイス制度について
- P4… 会員の声・アンケートQ&A
- P5… 会員互助会活動報告
- P6… 庄内町長との意見交換会  
庄内町議会議員との意見交換会  
諸課題検討委員会
- P7… 令和4年度実績ほか
- P8… シルバー人材センターから  
の案内

## 皆様のお力添えを

理事長 原田 正一



理事長に選任され早くも一年になりました。会報十六号発行にあたり一言御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症も当シルバー会員にも濃厚接触者になった会員もあり、休業せざるを得ない状況においこまれた会員も大変でした。シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」の基本理念に基づき地域社会の特色や実情を踏まえて積極的な取り組みを強化していく必要があります。当センターでも「安全適正就業委員会・諸課題検討委員会・広報委員会」を設置し、各委員会には理事、会員数名で構成されております。

今年度初めて庄内町長・議会議長ほか役場関係課長と意見交換を行い、多様化する問題に協力和理解を頂いております。十月よりインボイス制度が実施されます。情報収集、対応策等新たな税負担に対し継続して検討を進めて参ります。会員の皆様よりご努力いただき役員一同がんばりますので今後共皆様のお力添えをお願い申し上げます。

## 生涯現役でいきいき

庄内町長 富樫 透



新型コロナウイルス感染症は、五月八日から感染法上の位置づけが2類から5類に変更となり、経済も生活も少しずつですが元に戻りつつあります。しかしながら、高齢者にとっては新型コロナウイルス感染症による重症化が懸念されています。その対策として、令和五年も2回の予防接種を受けていただき、少しでも不安を払拭し、活動や交流によって、高齢者のフレイル（虚弱状態）予防や認知症予防につなげて頂きたいと思っております。

町では「元気で長寿日本のまち」の実現に向け、健康寿命の延伸を図るため、元気な時から楽しく健康づくりや介護予防に取り組めるよう、高齢者の居場所づくりと地域支え合いの体制づくりを進めているところです。

高齢者が生涯現役でいきいきと活躍することは町の元気の源でもありますので、今後も豊かな経験と知見を活かしたシルバー人材センターの活動を通し、生きがい作り、まちづくりに貢献して頂ければ幸いです。

## お客様の声

### 余目町農業協同組合

代表理事組合長 佐藤 一彦

余目町農協は、Aコープやスタンドをはじめ、農業従事者のみならず、地域の皆様からご理解とご協力を頂き事業を展開しております。コロナの感染症法上の位置付けが変更され、各種会合や催しが再開し、貴センターの皆様は今後多くの活動にご尽力を頂くお願いを致しました。

これからも地域農業の発展と地域で働く皆様の為、ご指導下さいます様重ねてお願い致します。

貴センターの益々のご発展をお祈り申し上げます。



### 社会福祉法人 立川厚生会

施設長 太田 清昭

立川厚生会では、特養・デイサービスなど五事業を展開しています。貴センター会員の皆様からは、介護、施設管理、送迎業務等を各事業所でお世話になっております。福祉施設はコロナ禍で外部との交流・行事が少なくなつた中ではありますが、今後も貴センターの皆様と共に利用者様から喜んでいただける介護サービス提供ができればと思っております。

## 第十一回 定時総会・ 第十八回会員互助会総会

# 新たな飛躍の年に！

第十一回定時総会が、六月九日(金)に庄内町余目第二まちづくりセンターで開催され、令和四年度の決算をはじめ報告四件および議案一件が賛成多数で議決されました。

総会では、齋藤喜四郎さんを議長に選出した後、理事長からシルバー人材センターの運営に関して「地域社会の課題に積極的に取り組む。会員の協力を願いたい」という主催者挨拶があり、また、来賓として庄内町および田澤伸一県議から祝辞があり、今後のシルバー人材センターへ



▲3年ぶりに会員参加の下で総会を開催

の期待が述べられました。

議案審議では総会資料に基づき、令和四年度収支の補正予算に続き、令和四年度事業報告と決算が上程されました。四年度事業は、コロナ禍の中で、請負委任の受注件数が前年比四・二％プラス、派遣の受注件数が十・四％プラスと前年度を上回りましたが、金額ベースでは、請負委任が前年比マイナス一・一％、派遣がマイナス二・四％と前年を下回ったこと、また取り組みでは、会員拡大や就業機会拡大など、令和四年度内に行われた各事業が報告されました。

こうした結果、令和四年度の収支では、昨年度よりは減少したものの、総額一億一千九十五万円の配分金をはじめ、年度末の正味財産期末残高が前年に比べて三十六万円増加の九百五十五万七千円となったことが報告されました。

さらに令和五年度の事業計画では、重点事項として「会員拡大」「就業機会拡大」「安全・適正就業推進」



▲和やかな懇談会で会員交流

「組織運営基盤の確立」「ボランティア活動推進」などが提案され、収支では一億一千万円の配分金を含む予算が可決されました。

また、第十八回会員互助会総会も引き続き開催され、全議案とも原案のとおり可決されました。

人生百年時代に見据えて、地域の高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや居場所づくりを進めることとしています。

## インボイス制度

(適格請求書等保存方式)

シルバー人材センター会員が受け取る配分金には消費税が含まれるが、現在年間課税売上高一千万円以下の小規模事業者(シルバー人材センター会員)は現在、消費税納税が免除となっています。しかしながら、今年十月から導入となるインボイス制度がスタートすると、請負業務等発注者から預かった消費税分をセンターで納入する必要が生じます。

これまで、全国シルバー人材センター事業協会と各都道府県シルバー人材センター連合会では、連名で国に対し少額の収入しかないセンターの会員の取り扱い額が減少することなく、センターにおいては安定的な事業運営が可能となる措置を要望していましたが、法律(制度)を改正してシルバー人材センターを特例とすることは困難ということで、十月から導入されることになりました。

山形県シルバー人材センター連合会インボイス制度対応検討委員会並びに当シルバーは、インボイス制度に関する諸問題や契約方法の見直しについて、令和五年度も継続して検討していきます。

## 地域住民と一緒に



太田 芳廣  
(清川)

早いもので自分も入会して十八年、今年四月で十九年になりました。

平成二十年山形県の労働安全特別教育を受け、チェーンソー、草刈り機械の取扱、平成二十六年には伐採、木の剪定の講習を受けました。それで、自分に出来る仕事は何でも働き、大変良かったと思っています。

清川地区の人達は、自分が人材センターに長いので直接電話してくる人が多く、地域のためにも、今のメンバーと一緒に楽しく、もう少し働けたらと思っています、今日この頃です。

## 私の人生



鈴木 なみ  
(清川)

入会して三年目、「シルバークラオケを楽しむ会」に入会さ

せていただき、とても楽しい人生の架け橋と思っております。また、人材センターでは、リハビリと思いつながら週一回働いています。

これからの私の人生は、皆様と触れ合いながら、もともとと、楽しい人生を歩んでいきたいと思っておりますので、どうぞこれからも、よろしくお願いいたします。

## シルバーに入会して



乙坂ハナ子  
(小出新田)

私は、シルバー人材センターにお世話になってから早くも二十年になりました。

仕事の内容は、主にテレビのアンテナ磨きとか、排水のマンホールのステックつけや、水路の目地とか、草取り等させてもらいました。研修旅行、グラウンド・ゴルフ、湯治会等に参加し会員の皆さんと楽しい時を過ごしております。健康に気をつけながらこれからも続けていきたいと思っております。

## コロナ禍での働く喜び



成澤 和明  
(西袋)

会社退職後、庄内町シルバー人材センターに入会して十二年になりました。

前の職場は外仕事で四十年勤めてきたので、最初に勤めた所は流れ作業で、女の人達も多く戸惑う事もありましたが、五年間勤めました。その後は、剪定、草刈り作業や工場のイベントのテント張りなど色々働かせて頂きました。

しかし、三年前に体調を崩して少しの時間しか働く事が出来ませんが、これからも宜しくお願ひします。また、昨年は湯治会に参加して、会員の皆様と交流して、年一度の疲れを流して、カラオケ、踊りなど、楽しい時間を過ごしてきました。

まだ湯治会に参加した事が無い会員の皆様、来年は是非参加して楽しい思い出をつくってみませんか。

## アンケートQ&A

シルバー人材センターの活動等に対するご意見、ご要望への回答

令和四年九月に実施した、シルバー会報に関するアンケート調査の中でありました活動等に対するご意見等に紙面の関係上、二部になりますが、回答いたします。

**Q 安全作業のため、事故例を掲載してほしい。**

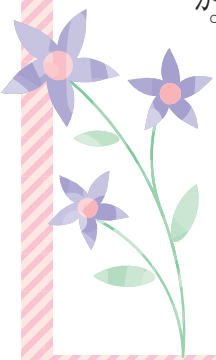
**A** シルバー会報の中では、紙面の関係上むずかしいので、別の方法でお知らせすることを検討します。

**Q 作業する場合、担当者から班長に平等に指示すると共に、何日から何日まで余裕をもって指示してもらいたい。**

**A** 令和三年九月に、就業会員相互の連帯意識の醸成及び自主運営の推進を図るとともに、センターと連携を密にし、就業による業務効率を高めるために職群班を設置したところですが、まだ、完全に機能しているとはいえず、今後も安全適正就業委員会の中で検討していきます。

**Q シルバーに入会しても仕事が回ってこない。などという意見がよく聞かれます。入会する希望者がいたら、もう少しシルバーの内容を説明してもらい、新人でも本人がやる気があれば出来るという事を、知ってもらいたい。**

**A** 三月から五月まで入会説明会を開催し、入会希望者にシルバーについて丁寧に説明いたしました。これからも随時入会希望者に対しては、丁寧な説明を心掛けていきます。



## 和気あいあいと

会員互助会会長 小野 妙子(和光町)



互助会会員の皆様、お元気で  
すか。桜の花も  
例年より早く咲  
き、ぱっと散っ

てしまいましたね。コロナ感染もよ  
うやく落ち着き、マスクをはずす生  
活にもどって来ました。私は、ヤッ  
ター、これで会員の皆様の顔を見て  
話すことが出来ると思うと感謝です。  
去年は佐野原五百羅漢とぶどう刈り、  
湯治会と皆様の協力のおかげで、無  
事和気あいあいと終える事が出来ま  
した。ありがとうございます。今年  
はグラウンド・ゴルフと湯治会です。  
また、皆様のご協力よろしくお願  
いします。今年はカラオケ以外の一  
人一芸をしてくださった方に、粗品  
を用意したいと思っております。沢  
山の方が参加して下さいる事を願っ  
ております。



## 「佐野原五百羅漢と ぶどう刈り」に参加して

阿部 純(大真木)



シルバー会員  
になり早いもの  
で十二年目にな  
りましたが、今  
回初めての参加

となりました。  
前から五百羅漢に行って見たい  
と思っていた所、今回の研修があっ  
たのでチャンスだと参加しました。  
自分が思っていたとおり色々な石  
像で一杯でした。それにぶどう刈り  
もおいしいし楽しかったです。バス  
の車中でも久しぶりの会員との交流  
も楽しい思い出になり、この企画を  
設定してくれた互助会の方々に感謝  
の気持ちで一杯です。  
本当にありがとうございます。



## 一日研修旅行

早坂 和江(茶屋町)



コロナ禍の中、  
不安をいだきな  
がら久し振りの  
交流と楽しみを  
求めて参加しま

した。  
佐野原五百羅漢へ到着です。五百  
体の石像が独自の面相を持ち、笑っ  
たり怒ったりと総ての表情で鎮座し  
ています。可愛い仕草の子供の像  
に心を残しあゆ茶屋へ。ご馳走に満  
腹しぶどう刈りへ、山の斜面のぶど  
う園は少し大変でした。かご一杯の  
御土産を買い帰路へ。  
楽しかった今日を明日への活力と  
して頑張ります。  
ありがとうございました。

## 楽しみな湯治会

桜井 順子(興野)



コロナ禍でまだ  
マスクを自由に  
はずす事ができ  
ない状況の中で

一年ぶりに会うことができた会員さ  
ん達との交流会、宴会とたくさん

御土産もいただき有意義な時間を過  
ごすことができました。

これからも、参加できるように仕  
事と体に気を付けて行きたいと思  
います。

## コロナで始まり コロナで終わった湯治会

石川 昭一(中堀野)



旅館内では、  
やはりコロナ対  
策に気を使って  
おり、特に食堂  
においては、客

個人に対して簡易なビニール手袋を渡  
されたり、また食事をする場所も同じ  
行動をする様に指示されたり、コロナ  
に対しての徹底の配慮が感じられまし  
た。あの様な行為はさすが一流の旅館  
だと感心させられた思いでした。



## 富樫透庄内町長と意見交換会 を行い要望書提出

令和四年八月三日余日第四まちづくりセンターを会場に庄内町長とシルバー人材センター役員との意見交換会を行いました。意見交換会ではシルバー人材センターの組織運営について原田正一理事長が説明、引き続き超高齢化社会にチャレンジする庄内町シルバー人材の決意と支援の要望書を説明し理解を求めました。

※要望事項に対して回答

一、庄内町高齢者就業機会確保事業費等補助金の増額

回答 状況に変動が生じ、運営に支障を来す場合、その都度協議致します。

一、庄内町役場関係機関からの事業発注の確保について

回答 事業発注に努めるよう指示しています。

一、「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」について、安定的な事業運営が可能とする措置の要望について  
回答 全国の自治体から制度上の問題として要望、本町としても注視することとし、国からの指示があれば、然るべき対応を講じる考えであります。

一、事務所の移転について

回答 貸付け、又は目的以外利用を許可する施設は現在のところありません。

懇切丁寧な回答を頂きましたが、いろいろな諸問題を抱える中で、お互いが知恵を出し合い地域社会の活性化に貢献することでセンターが重要な役割を担っている立場を確認しました。

町長から高齢者が生涯現役でいきいきと活躍することは町の元気の源でありますので、今後も豊かな経験と知見を活かしたシルバー人材センターの活躍を期待するとの激励を頂きました。

## 庄内町議会議長、総務文教厚生常任委員会委員との初めての意見交換会

令和四年十一月二十八日庄内町役場四階会議室にて庄内町副議長、総務文教厚生委員会委員とシルバー人材センター役員の初めての意見交換会を行いました。

庄内町議会議長宛に地域社会に貢献するシルバー人材センターの決意と支援要望書に基づき、ご理解と支援について座談会方式で活発な意見交換を行い、庄内町シルバー人材センターの就業機会の開拓等幅広く知識を頂きました。

シルバー人材センターは「自主・自立・共働・共助」の基本に基づき会員の総意と主体的な参画により運営する組織であり、地域の社会生活に密着した就業機会を提供すること

など、高齢者の生き甲斐の充実、健康の保持増進、ひいては地域社会の活性化、医療費や介護費用の削減等に貢献している組織です。

新型コロナウイルス感染症の発生、ソ連のウクライナ侵攻等々による行為に伴う物価高騰は我々の生活に影響を与えており、組織運営にも作業委託の減少が続き大きな影響を受けております。令和五年十月に導入予定の消費税による「適格請求書保存方式(インボイス制度)」の対応の問題、最低賃金を重視し適正かつ公平な賃金体制の取組みと、職員待遇と職場環境等の重要課題に支援と理解を頂きました。

出席議員

副議長	齋藤 秀紀
総務文教厚生常任委員長	工藤 範子
総務文教厚生常任副委員長	スルタンヌール
総務文教厚生常任委員	上野 幸美
総務文教厚生常任委員	渡部伊君子
総務文教厚生常任委員	石川 武利
産業建設常任委員	小野 一晴

## 諸課題検討委員会報告

令和五年十一月一日から導入される「適格請求書等保存方式(インボイス制度)」及び庄内町シルバー人材センターが抱える諸課題に対応するため、一般社団法人庄内町シルバー人材センター諸課題検討委員会規定

に基づき、委員四名、執行部三役三名の委員会構成で設置されました。

(一) インボイス制度に関する事項は情報収集、対応策、制度導入された場合の新たな税負担の内容を継続し検討を重ねています。

(二) 財政運営に関する問題として、町の補助金対応の要請(国の補助金と同額以上の町の補助金を確保することの条件、組織運営の基盤強固を図るため)要請活動を引き続き行います。

(三) 適正就業に関する事項は、請負業務を派遣業務に就業形態を移行し、安全就業確保の導入を図り内容の充実に努めます。

(四) 利用料金に関する事項、山形県最低賃金の改定に伴う派遣先への新単価の適用の協力とお願い要請を行います。

◎庄内町シルバー人材センター組織運営機能強化に関する諸課題について、庄内町長、庄内町議会議長並びに総務文教厚生常任委員会委員また佐藤総務課長、鶴巻保健福祉課長等と初めて幅広く意見交換を行い、多様化する諸課題に協力と支援要請を行いました。



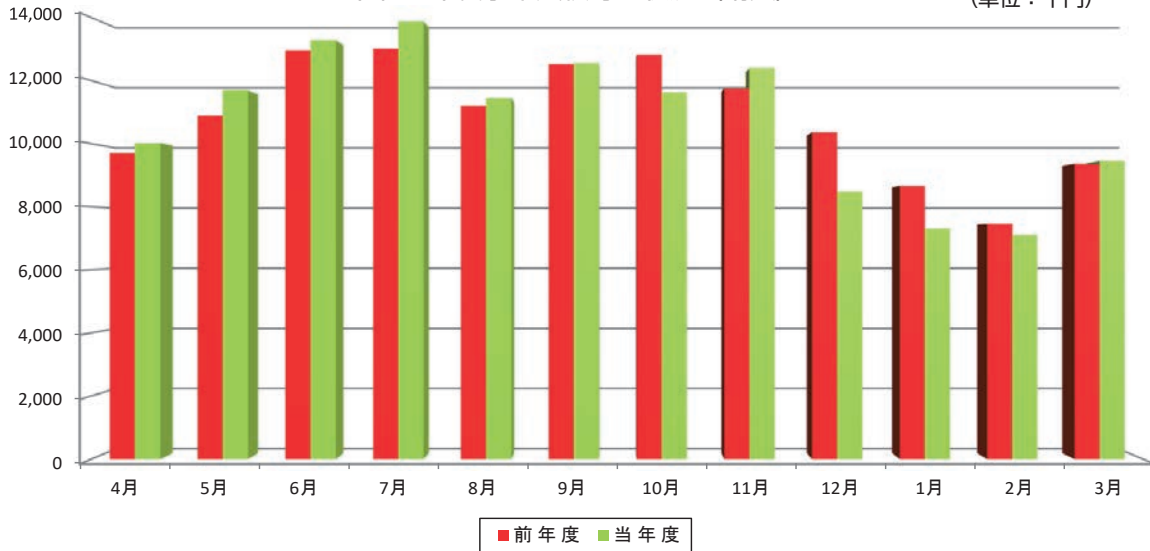
# 令和4年度の実績

令和4年度の当シルバー人材センターの経営状況では、当期経常増減額は、362千円となり、正味財産期末残高では、9,558千円の決算となりました。

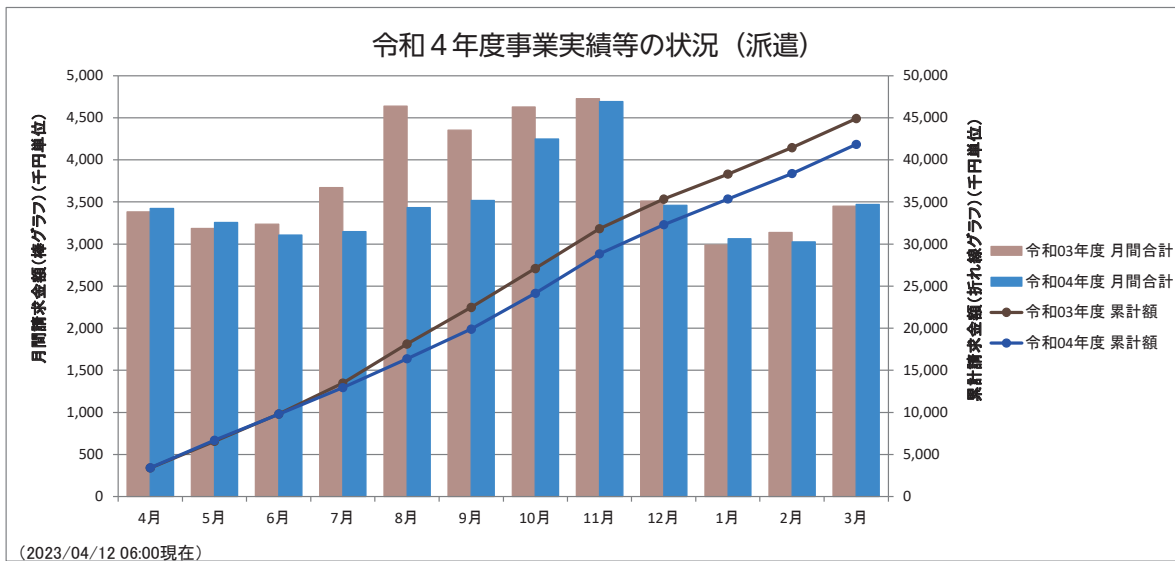
事業実績については、会員数で対前年度比20名の減となり、契約金額では、請負・委任については、コロナ禍の影響、公共事業の減少、民間企業への請負会員が見つからなかった等により1,477千円（1.1%）の減少となり、派遣事業については、これまで増加傾向にありましたが、ここにもコロナ禍の影響、農作業業務の減少等により3,061千円（6.8%）の減で、全体では、4,538千円（2.6%）の減少となりました。

令和4年度事業実績等の状況（請負）

（単位：千円）



令和4年度事業実績等の状況（派遣）



(2023/04/12 06:00現在)

## 安全・適正就業委員会報告

安全・適正就業委員会では、会員の就業中及び就業途中における事故防止対策を図っていますが、残念ながら令和四年度は、傷害事故4件、物損事故8件発生しています。

シルバー事業は、高齢者が健康で安心して「働く」ことを通じて生きがいを得るとともに、地域社会に貢献していくことを目的としており、このことから日頃から安全・適正就業に対する意識の高揚を維持していくことが肝要です。

このため、7月を「安全・適正就業強化月間」と定め、安全・適正就業について、全ての会員、役員が、個人そして組織全体の問題として捉え、事故の撲滅と受注及び就業形態の適正化を図り、「安全・安心」なシルバー事業の展開を図る必要があります。全国統一スローガンとして「安全は無理せず 焦らず油断せず」を掲げています。

庄内町シルバー人材センターで取り組む事項としては

- 一、安全・適正就業委員会の開催とともに、就業現場の巡回指導
- 二、重篤事故につながる就業の見直し
- 三、安全保護員（ヘルメット等）の完全着用の徹底を図る。
- 四、交通安全県民運動を推進し、高齢運転者の交通事故防止に努める。

自分の身体と相談しながら無理せず、健康に留意し、いつも笑顔が絶えないシルバー人材センターをめざします。

# 庄内町シルバー人材センターからのご案内

シルバーではこんな仕事をしています。ご希望の方はお気軽にお電話ください。



草取



剪定



襖、障子張り



お掃除



送迎



介護助手



広報配布



草刈払い



ごみ処分



農作業



筆耕



墓の清掃

## 「会員を募集しています」ご紹介ください

**あなたの豊富な経験・知識・技能をシルバー人材センターで活かしてみませんか！**

- ★庄内町にお住いの原則60歳以上の方で、健康で働く意欲があり、シルバー人材センターの趣旨に賛同していただける方であれば、どなたでも入会できます。
- ★シルバーには会員の親睦を深めるため、互助会があり、1日研修旅行、お楽しみ湯治会、グラウンド・ゴルフ大会、カラオケ、風の会等の趣味の会があり皆さん楽しんでおります。
- ★会費 入会費(初年度のみ):1,000円 年会費:1,500円 互助会費:1,000円
- ★会員の方で体力の衰えや家庭の事情で、一般会員の様に仕事は出来ないが、会に所属して互助会の活動に参加したい方の為に、ゴールド会員制度がありますので、退会しないでシルバーの会員として残して下さい。
- ★ゴールド会員の会費 年会費:500円 互助会費:500円
- ★入会、勧誘活動を実施しております。お知り合いに入会希望者が居りましたら是非ご紹介下さい。

入会のお問い合わせ仕事のお申し込みは下記事務所まで  
〒999-7781 庄内町余目字大塚1-2 電話・Fax(0234) 42-3122

## ■新入職員の紹介■

会員の皆様のご要望はもちろんです。ご依頼くださる多くの皆様にご満足いただけるように、精一杯のお手伝いをさせていただきます。と思っております。不慣れな為ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



業務係主事  
秋葉 美紀子

ご縁をいただき、お世話になることになりました。まだ、微力ですが、一人でも多くの会員の皆様へ、生き生きと安全なお仕事が出来、環境を提供出来るように努めていきたいと思っております。よろしくお願い致します。



業務係主事  
松村 由紀

## ■お疲れ様でした■

退職される職員  
業務係兼 就業機会開拓員  
秋庭 幸久  
庶務係長  
工藤 亜希  
主任  
森 美弥

## 会員数の推移

職場の雇用延長により新規入会者数が減少、会員の高齢化等により退会者が増加。前年度より20人減少しました。

令和2年度末会員数			令和3年度入会数			令和3年度退会数			令和3年度末会員数		
男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
200	130	330	17	11	28	25	13	38	192	128	320
令和3年度末会員数			令和4年度入会数			令和4年度退会数			令和4年度末会員数		
男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計	男性	女性	合計
192	128	320	12	12	24	25	19	44	179	121	300

## 編集後記

コロナウイルス感染対策も第5類に移行され、三年数カ月振りにマスク着用は個人の判断に。ようやくお互いの顔が見える日常生活が戻って来ました。でも油断は禁物。状況にあわせた手指の消毒などの感染防止に努めたいものです。新しい広報委員を加えて「会報十六号」を発行する事が出来ました。会員の皆様や関係者より寄稿を頂き、感謝申し上げます。

広報委員長 足達 健一  
副広報委員長 齋藤 はる  
広報委員 齋藤 君夫  
同 奥山 賢一  
同 鈴木 幸雄  
同 田澤 雄次  
同 池田 悠美  
同 太田 昭  
事務局 森 美弥

事務所からのおお願い  
会員の皆様、就労ご苦労様です。  
★作業日報の提出  
就業報告書(作業日報)の提出は、作業が終了しましたら、早急に事務所に提出ください。(事務所入口のポストでも結構です)作業先のお宅や会社の担当者から確認印またはサインを必ず貰ってください。  
庄内町シルバー人材センター